

結婚・出産後の仕事に関する意識調査(2)

専業主婦希望でも夫に頼まれたら約7割が「割り切って働く」

～興味・あこがれがある資格は「医療事務」～

株式会社ユーキャン(本社:東京都高田馬場)は、株式会社アイシェアと共同で

男性 2,217 名、女性 1,243 名を対象に、女性の結婚・出産後の働き方及び資格取得等に関する意識や実態を明らかにすることを目的に調査を実施しました。

※本リリース文章はアイシェアから提供された調査データをユーキャンが編集したものとなります。

調査結果からは、結婚・出産後は専業主婦になりたい女性が半数以上であるものの、そのうち約 7 割の方は、「専業主婦になるのは難しい」と考えており、夫から結婚し出産した後も働いて欲しいと言われたら「割り切って働く」ことが明らかになりました。

専業主婦を希望する理由としては、「家事や育児に集中したいから」(55.2%)「自分の趣味に打ち込みたいから」(25.5%)。

そのような意識からか、結婚・出産後に夫の要望を受けて働く場合には、働く時間や場所を選びやすく、家事・育児なども両立しやすい「パート・アルバイト」を希望する方が約 4 割とダントツの 1 位。興味・あこがれを持っている資格も、働き方を選びやすい「[医療事務](#)」が 29.1%と 2 位の「[簿記](#)」に 5 ポイントの差をつけて支持されました。また、結婚・出産後は働き続けたいという女性と比べると、医療事務と同様に働き方を選びやすい「[調剤薬局事務](#)」が上位にランクインしているのが特徴です。

妻が出産した後、家事・育児に「とても協力したい」と回答した男性は約 6 割。「少しは協力したい」をあわせると、約 9 割が家事・育児に協力的な傾向といえます。

妻に出産後も働いて欲しいと考えている男性のうち、もし妻が専業主婦を希望した場合には、6 割以上が承諾すると回答。その場合、9 割以上の方が、妻に「家事や子育てをしながらできる[趣味](#)を持って欲しい」(48.1%)、「家事や子育てをしながら興味のあることを勉強して欲しい」(31.2%)など、家事や育児以外の“生きがい”を見つけて欲しいと考えていることが明らかになりました。

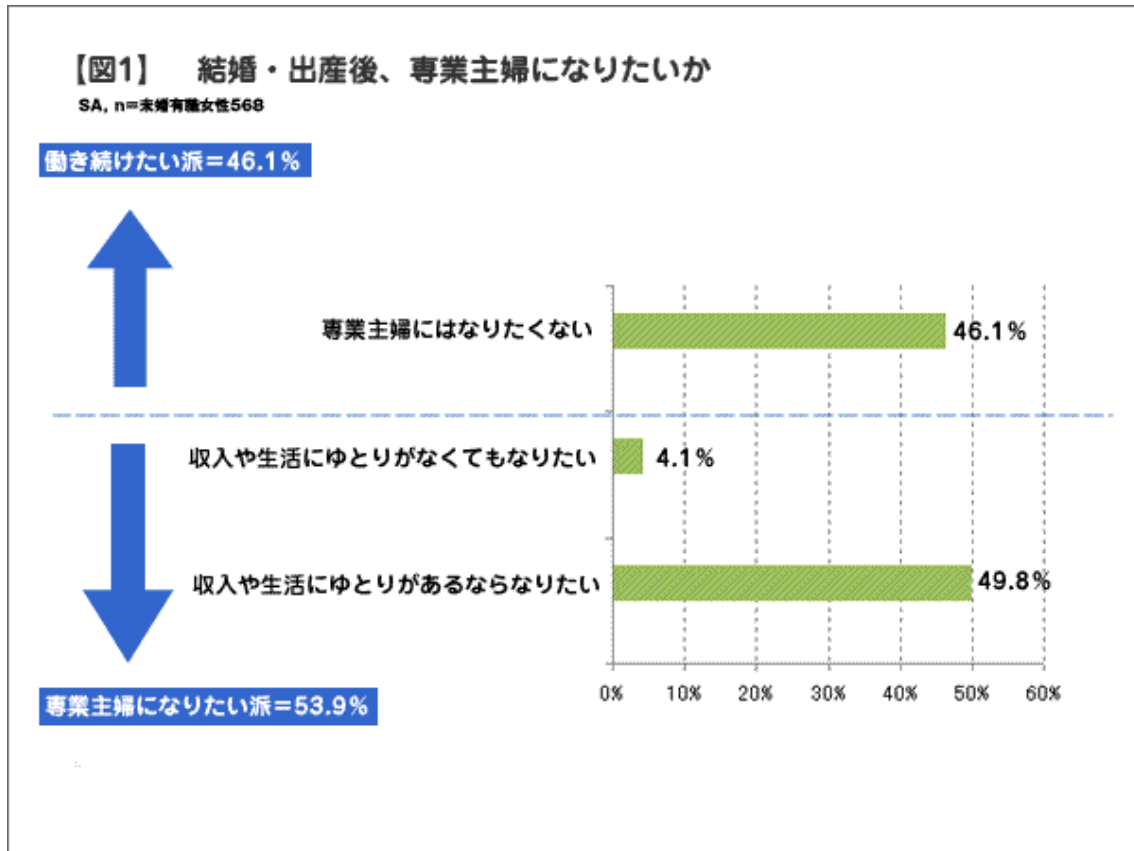
結婚・出産後は相手の要望や家計状況などから、専業主婦を希望していても働く必要があるかもしれません。また、ちょっとした息抜きのために趣味を持ちたくなるかも。そんなときのために、目的・条件・業種から絞り込み、自分の希望に合った講座を探せる「[資格講座選択](#)」や、YES、NOで答えるだけでぴったりの講座を発見できる「[心理学から分かるぴったり講座診断](#)」などのお手軽ツールをちょっと試してみると、“自分がやってみたいこと”の具体的なイメージが湧きやすいかもしれませんね。

【主な調査結果】

- 結婚・出産後、専業主婦になりたい女性は半数以上
- 専業主婦になりたい派でも、実際にはなれないと考えている女性が約 7 割
- 専業主婦になりたい派でも、夫から要望があれば、7 割以上が「割り切って働く」
- 専業主婦になりたい派が興味・あこがれのある資格は「医療事務」
- 妻が出産した後、家事・育児に「とても協力したい」男性は約 6 割
- 9 割以上の男性は、妻が専業主婦になったら、家事・育児以外の“生きがい”に目を向けて欲しい！

●結婚・出産後、専業主婦になりたい女性は半数以上

現在未婚で働いている女性のうち、結婚・出産した後「収入や生活にゆとりがなくとも専業主婦になりたい」「収入や生活にゆとりがあるなら専業主婦になりたい」という専業主婦になりたい派は53.9%と、半数以上という結果になりました。

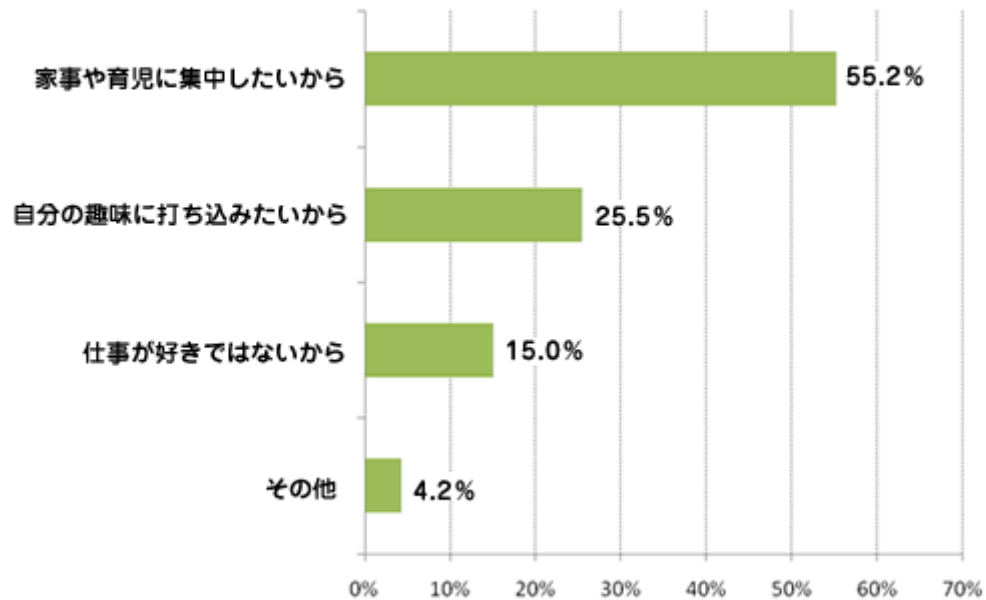


結婚・出産後に専業主婦になりたい理由は「家事や育児に集中したいから」(55.2%)、「自分の趣味に打ち込みたいから」(25.5%)。

(参考:ユーキャンの特集「[スグできる！ おうちレッスン始めよう♪](#)」「[ライフスタイル別趣味特集](#)」「[注目☆家計お役立ちスキル](#)」)

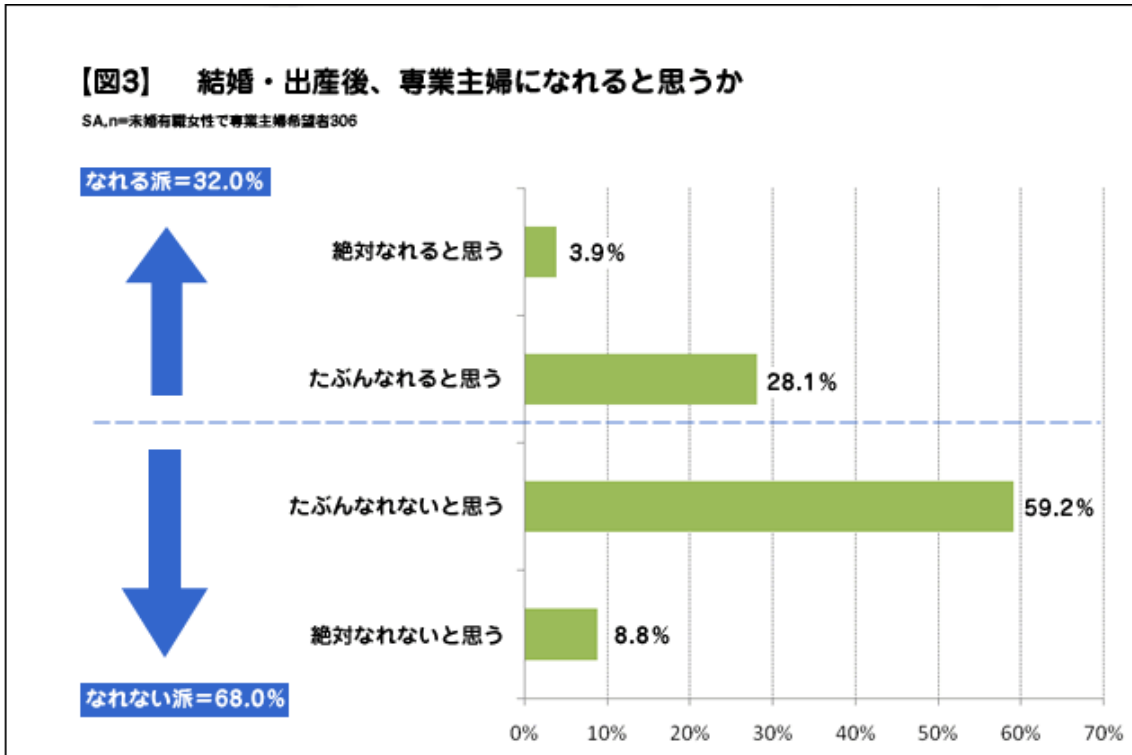
【図2】 結婚・出産後、専業主婦になりたい理由

SA,n=未婚有職女性で専業主婦希望者306

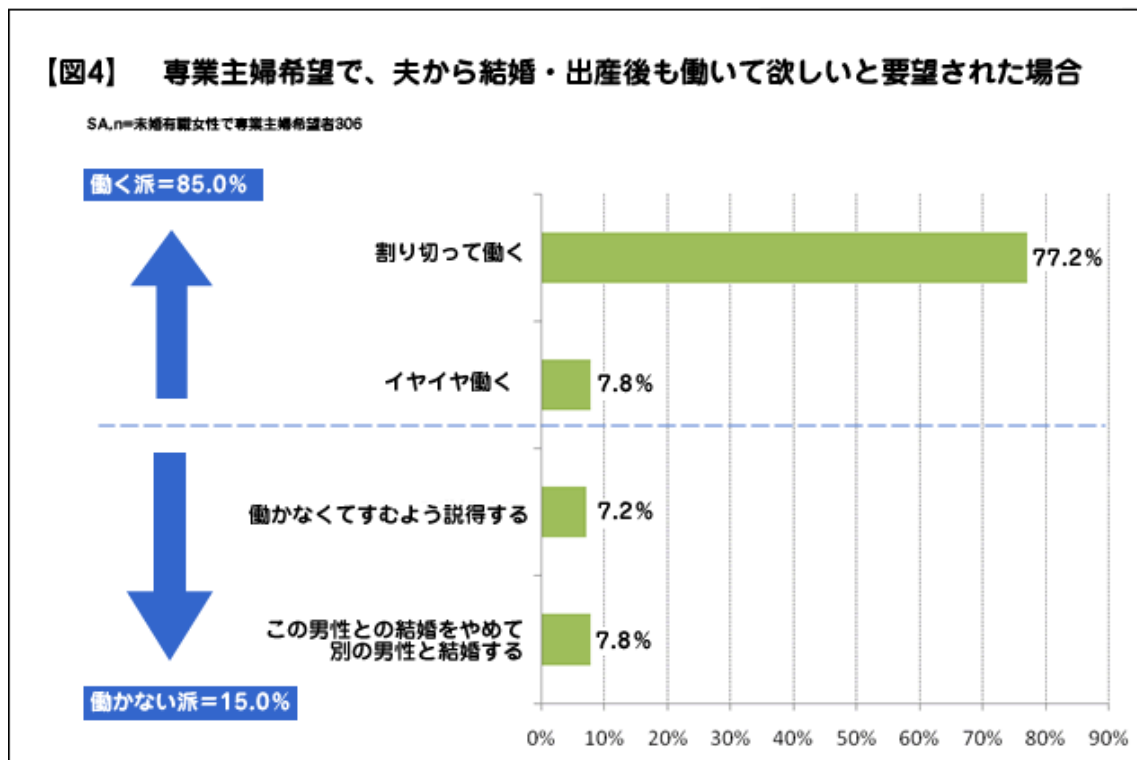


● 専業主婦になりたい派でも、実際にはなれないと考えている女性が約 7 割

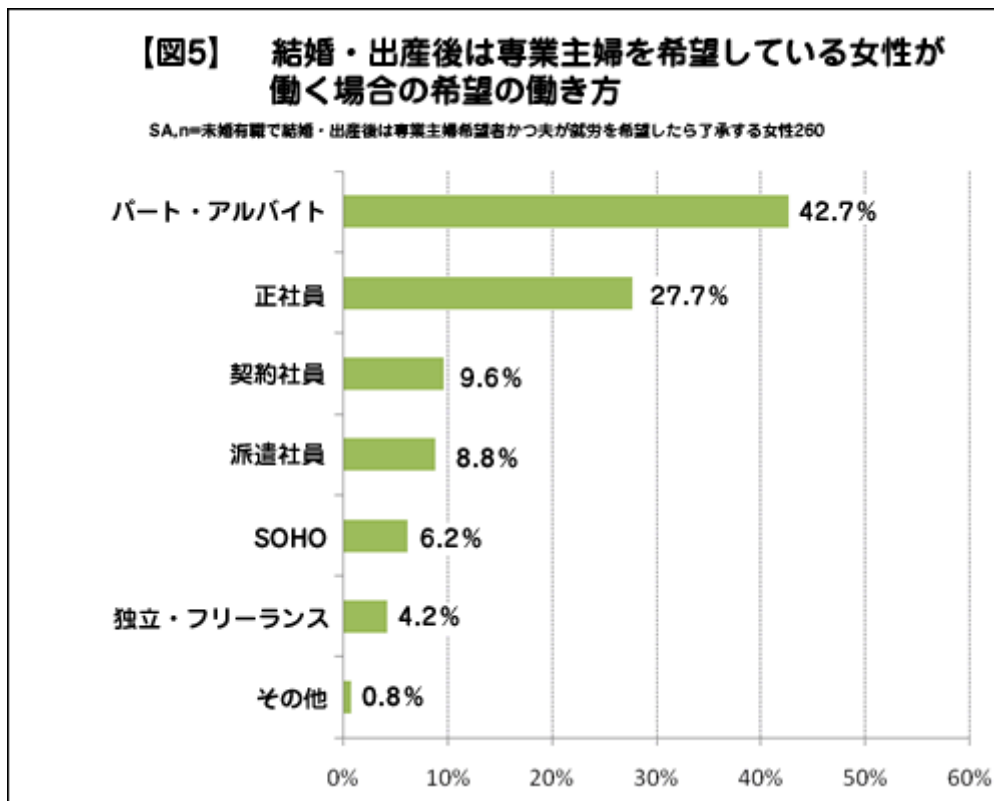
専業主婦になりたい派のうち、世の中の子育て中の家庭の状況を見て、結婚し出産した後、専業主婦になれると思うかという問いに「たぶんなれないと思う」(59.2%)「絶対なれないと思う」(8.8%)と、約 7 割の方が現実を踏まえると厳しい、という見方を示しました。



●専業主婦になりたい派でも、夫から要望があれば、7割以上が「割り切って働く」
専業主婦になりたい派でも、もし結婚を考えている男性から「結婚し出産した後も働いて欲しい」と言われたら、「割り切って働く」(77.1%)、「イヤイヤ働く」(7.8%)とあわせると、85%が働くと回答。



その場合に希望する働き方としては、働く時間や場所を選びやすい「パート・アルバイト」を希望する人が約4割(42.7%)とダントツの1位。2位以下は「正社員」(27.7%)、「契約社員」(9.6%)と続きます。



●専業主婦になりたい派が興味・あこがれのある資格は「医療事務」

専業主婦になりたい派の女性が興味・あこがれを持っている資格の1位は「[医療事務](#)」(29.1%)。

2位の「[簿記](#)」(23.0%)に5ポイント以上の差をつけて支持されました。

3位以下は「[マイクロソフト認定資格](#)」(22.4%)「[調剤薬局事務](#)」(20.0%)「[カラーコーディネーター](#)」(18.8%)と続きます。

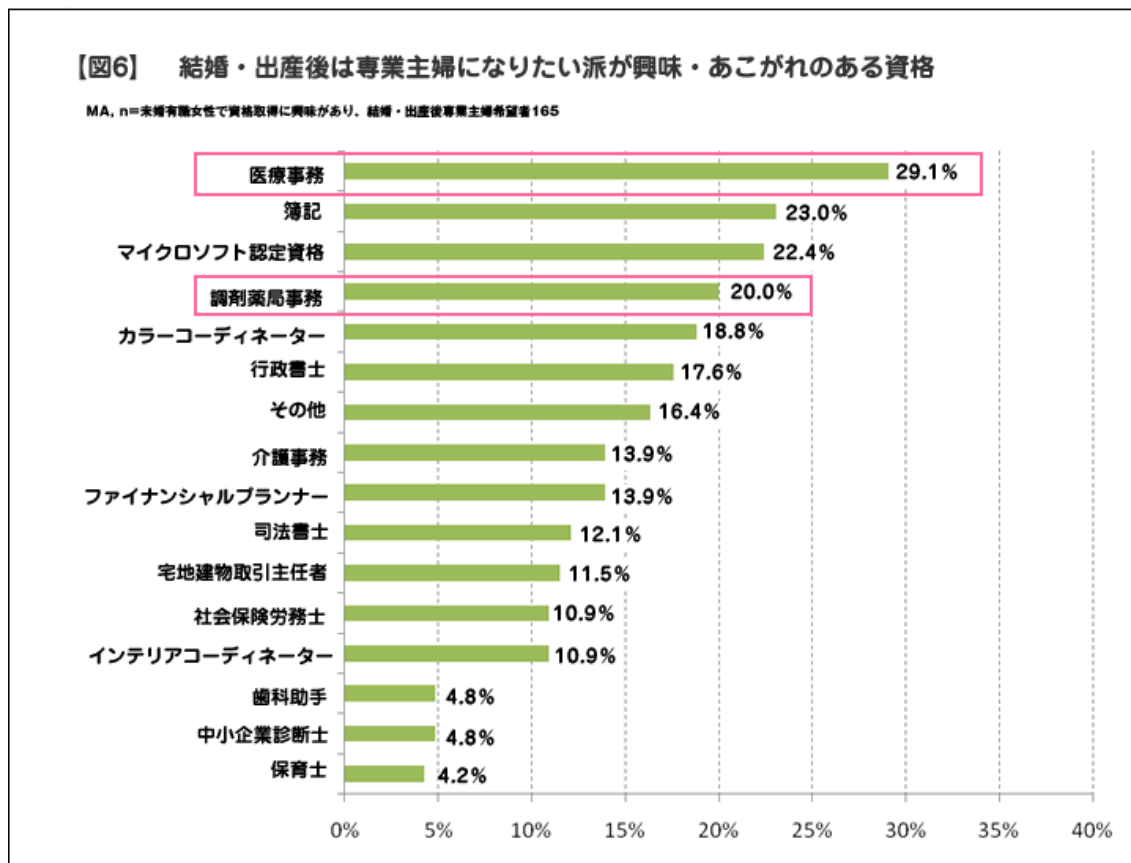
結婚・出産後は働き続けたい派のランキングと比較すると、「医療事務」や「調剤薬局事務」が上位にランクインしている理由としては、

- ・ 全国各地に働く場所がある(医療事務の場合は病院・医院。調剤薬局事務の場合は、医療機関で出される処方箋と引き換えに薬を提供する薬局)
- ・ 「午前中だけ」「月末月初だけ」という求人が多く、働く時間を自分の都合に合わせて選びやすい

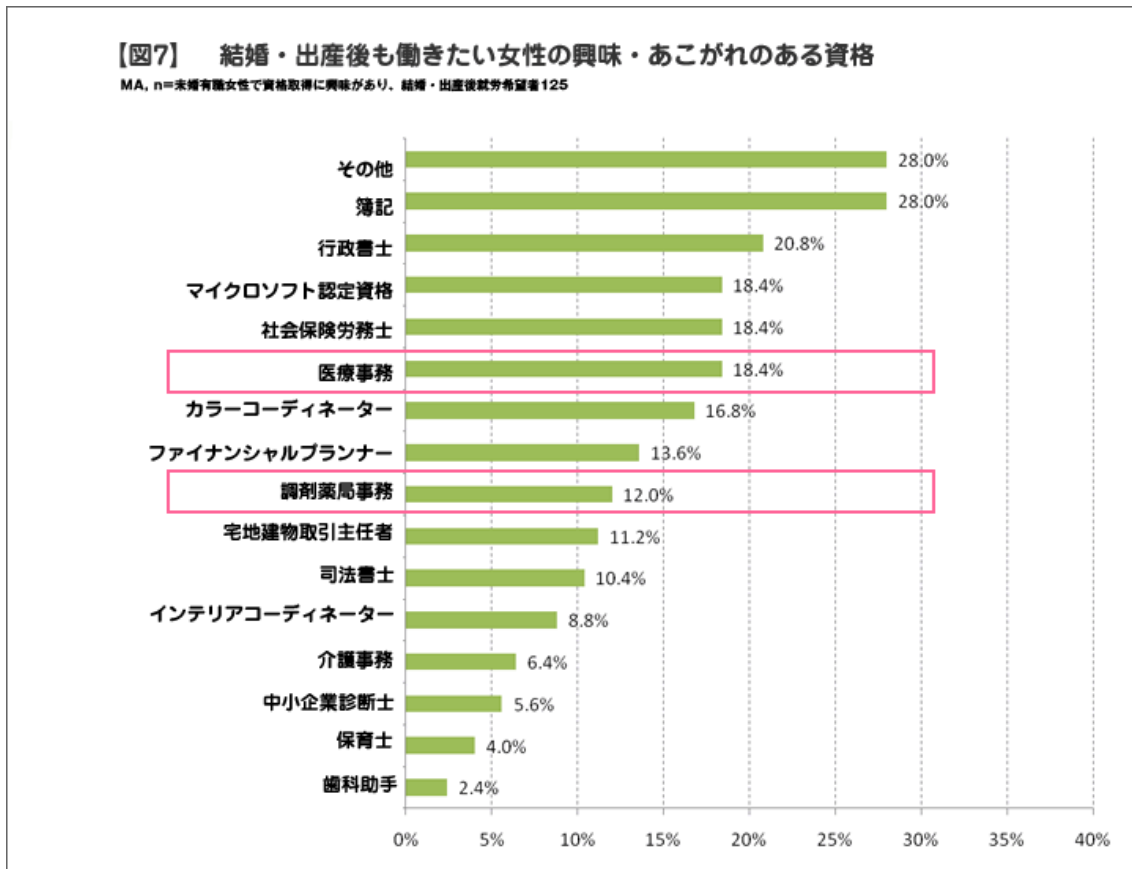
と、家事・育児などと両立しながら働きやすい職場を選べるためと考えられます。

(参考:ユーキャンコミュニティ 集まれ! 学びーズ 汗と涙のスタッフ日誌記事「[よくある質問】医療事務、介護事務、調剤薬局事務、歯科助手の違いって何?](#)」)

その他としては、「建築士」「情報処理」「税理士」「[気象予報士](#)」などの回答が目立ちました。

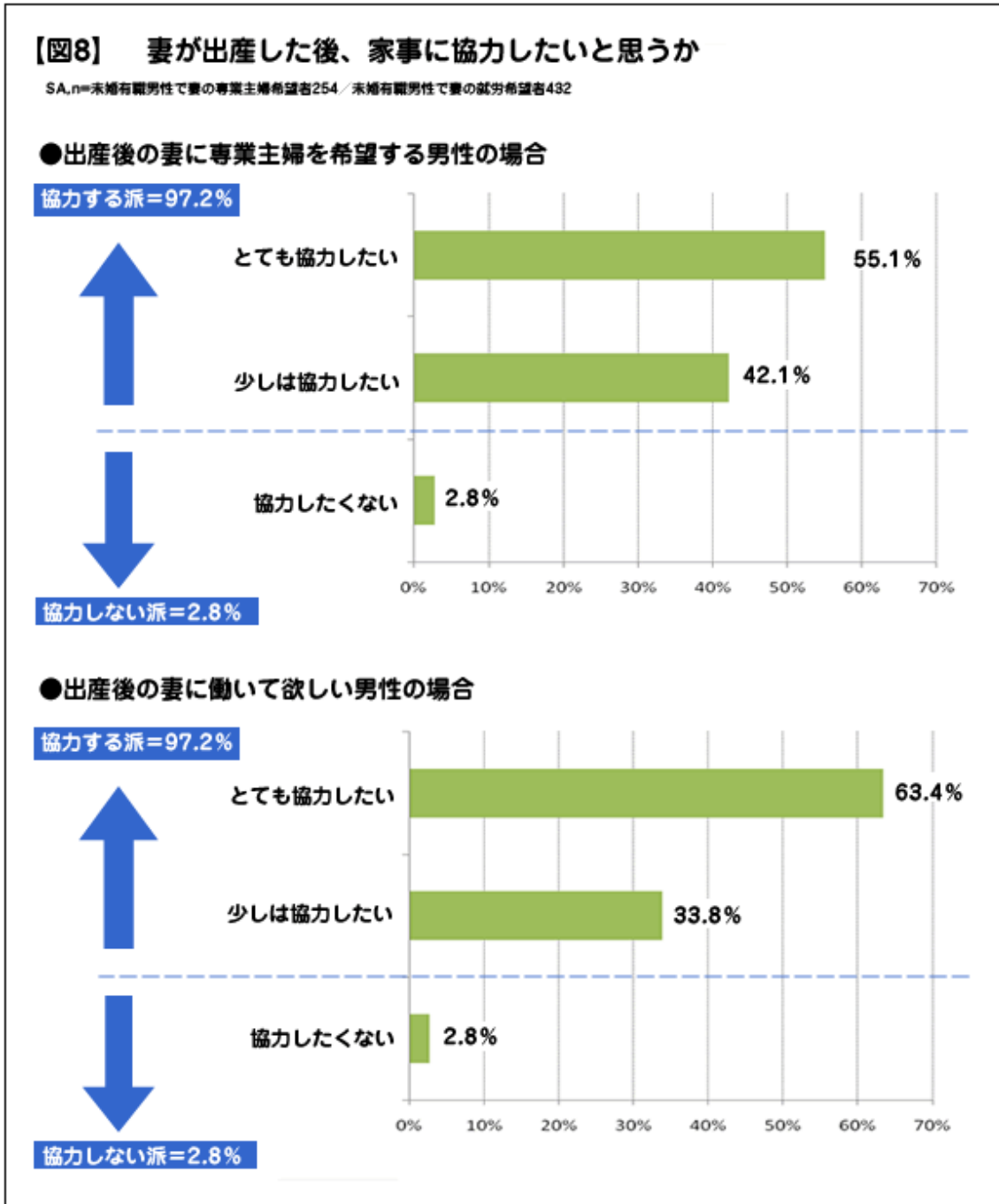


(参考:ユーキャンのニュースリリース2010.08.05【結婚・出産後の仕事に関する意識調査(1)女性の約4割半が「結婚・出産後も働きたい」】)



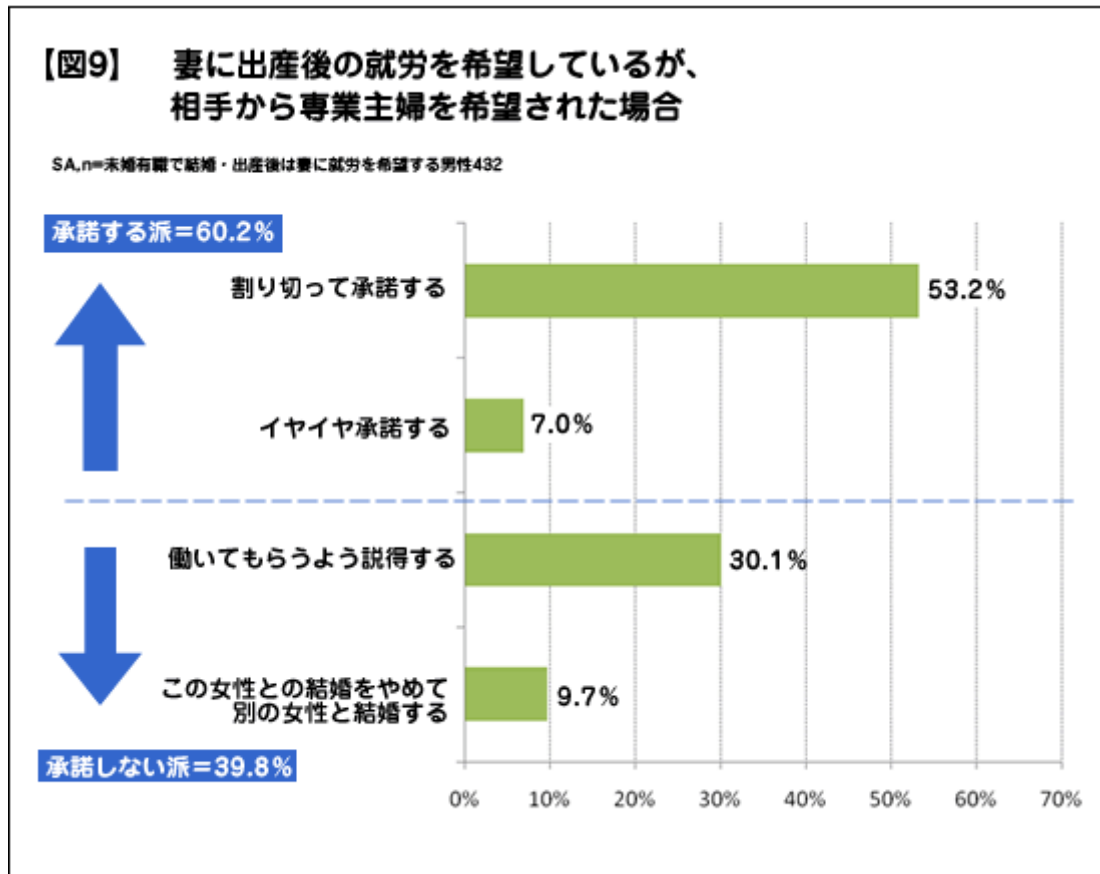
●妻が出産した後、家事・育児に「とても協力したい」男性は約 6 割

出産後の妻に専業主婦を希望する男性も、働いて欲しい男性も、どちらも 6 割以上が、家事・育児に「とても協力したい」と回答。「少しは協力したい」を合計すると、9 割以上の男性が家事・育児に協力的な姿勢を示しています。



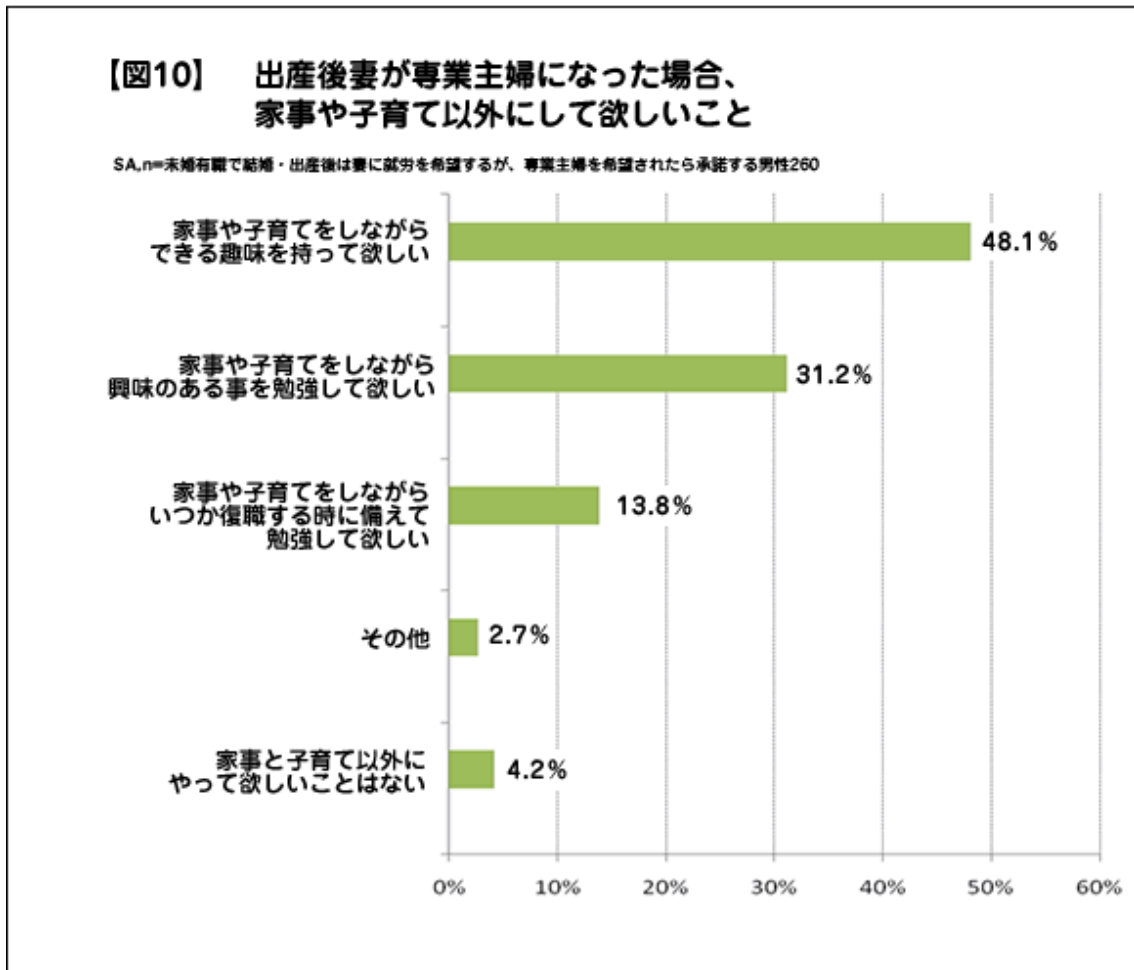
●9 割以上の男性は、妻が専業主婦になったら、家事・育児以外の“生きがい”に向けて欲しい！

妻に結婚・出産後も働いて欲しいという男性が妻に専業主婦を希望された場合、半数以上が「割り切って承諾する」(53.2%)と回答。「イヤイヤ承諾する」(6.9%)とあわせると、6割以上が承諾するという結果になりました。



その場合、妻には「家事や子育てをしながらできる趣味を持って欲しい」(48.1%)「家事や子育てをしながら興味のある事を勉強して欲しい」(31.2%)など、「家事と子育て以外にやって欲しいことはない」(4.2%)を除く 9 割以上が、家事と育児以外のことに目を向けて欲しいと回答。妻自身の“生きがい”を見つけて欲しいという気持ちがあるようです。

(参考:ユーキャンのツール【目的、条件、業種から絞り込み希望に合った講座を探せる「[資格講座選択](#)」】【YES、NOで答えるだけでぴったりの講座を発見!「[心理学から分かるぴったり講座診断](#)」])



<調査概要>

- 調査テーマ : 出産後の仕事に関する意識調査
- 調査主体 : 株式会社ユーキャン／株式会社アイシェア
- アンケート実施 : 株式会社アイシェア
- 調査方法 : インターネットによるアンケート調査
- 調査期間 : 2010年7月16日から2010年7月20日
- 調査対象 : 男性 2,217名、女性 1,243名

※語句の意味については以下の通り

n＝質問への回答者数

SA＝選択肢から1つを選択する回答形式

MA＝選択肢から複数の選択を可能にする回答形式